

# 第207回一関市教育委員会定例会

日時：令和2年6月24日(水)

午後1時30分から

場所：会議室棟第4会議室

## 1 開 会

## 2 議 事

議事日程第1 議案第9号 一関市図書館協議会委員の任命に関し議決を求めること  
について

議事日程第2 議案第10号 一関市博物館協議会委員の任命に関し議決を求めること  
について

議事日程第3 協議第6号 大東地域の中学校の統合について

## 3 報 告

(1) 行事報告及び7月行事予定について (資料No.1)

## 4 その他

(1) 令和2年度学校教育行政の重点について (キャリア教育) (資料No.2)

(2) その他

## 5 閉 会

第207回一関市教育委員会定例会議案件名表

議案第9号	一関市図書館協議会委員の任命に関し議決を求めることについて
議案第10号	一関市博物館協議会委員の任命に関し議決を求めることについて
協議第6号	大東地域の中学校の統合について

## 議案第9号

一関市図書館協議会委員の任命に関し議決を求めることについて

次のとおり一関市図書館協議会委員を任命することについて、議決を求める。

### 1 任命（令和2年7月1日付け 任期 令和2年7月1日～令和4年6月30日）

氏名	所属等
中 澤 咲 子	一関図書館運営協議会
二階堂 美 恵	花泉図書館運営協議会
都 澤 喜久子	大東図書館運営協議会
藤 野 裕	千厩図書館運営協議会
小野寺 千 壽	東山図書館運営協議会
高 橋 澄 夫	室根図書館運営協議会
鈴 木 宏	川崎図書館運営協議会
千 葉 亜矢子	藤沢図書館運営協議会
畠 山 信 禎	特定非営利活動法人 レスパイトハウス・ハンズ
佐々木 香	いちのせき若者サポートステーション
鈴 木 由 美	ほおづきの会
牧 野 順四郎	修紅短期大学
菅 原 奈々子	川崎中学校
那 須 照 市	川嶋印刷株式会社
千 田 広 子	公募委員
菅 原 寿	公募委員

令和2年6月24日提出

一関市教育委員会教育長 小 菅 正 晴

理由

一関市図書館協議会委員の任期満了により新たに任命しようとするものである。これが、この議案を提出する理由である。

議案第 10 号

一関市博物館協議会委員の任命に関し議決を求めることについて

次のとおり一関市博物館協議会委員を任命することについて議決を求める。

1 任命（令和2年7月1日付 任期 令和2年7月1日～令和3年6月30日）

氏 名	所 属 等	選考基準
千葉 豪	一関市校長会 巖美中学校長	学校教育
高橋 正勝	岩手県高等学校長協会一関支会 一関第二高等学校校長	学校教育

令和2年6月24日提出

一関市教育委員会教育長 小 菅 正 晴

理由

所属機関での退職により欠員となっている委員を新たに任命しようとするものである。  
これが、この議案を提出する理由である。

協議第6号

大東地域の中学校の統合について

大東地域中学校統合基本方針について、次のとおり協議します。

令和2年6月24日提出

一関市教育委員会教育長 小 菅 正 晴

## 大東地域中学校統合基本方針

大東地域中学校再編検討委員会からの提言を尊重し、大東地域の中学校統合については、次の方針とする。

### 記

#### 1 基本方針策定の趣旨

大東地域のより良い中学校教育環境の確保のため、大東地域内の3つの中学校を統合し、新たな中学校を整備・開校するための基本的な事項を明らかにするために、この基本方針を策定する。

#### 2 統合の方式

大原中学校、大東中学校、興田中学校を閉校し、新設統合とする。

#### 3 建設場所

現在の大東中学校校舎を使用し、不足する教室等の設置に伴い、既存校舎の改修及び増築を行う。

#### 4 統合の時期

統合する時期は、令和6年4月開校を目指す。

#### 5 大東地域中学校統合推進委員会（仮称）の設置

中学校統合に係る詳細な協議・検討の場として、PTA、学校、地域の代表者等による大東地域中学校統合推進委員会（仮称）を新たに組織する。

令和2年6月24日

一関市教育委員会

## 大東地域の中学校の統合について

## 大東地域中学校の統合に向けた経緯

- H27～ 各中学校PTA役員会、地域協働体、大東地域教育を語る会などで、中学校統合についての話し合いがもたれた
- H31.3 各小・中学校PTA代表による「大東地域中学校あり方検討会」より、中学校1校統合についての検討結果を大東支所長に提言された
- R元.10 大東地域中学校再編検討委員会を設置
- ・ 地域協働体、幼稚園・保育園父母の会役員、小・中学校PTA役員、学識経験者で構成する32名の委員で構成
  - ・ 10/30、11/25、12/18（※1/15）、2/17、3/23の5回にわたり中学校再編の検討を行った  
※ 第3回検討委員会は、中学校区ごとの分科会形式で開催。大原地区は議論の持越しがあり、12/18、1/15の二日にわたり開催
- R2.3.30 教育長に対し、大東地域中学校再編検討委員会の検討結果が提出された  
(報告の要旨)
- 1 大東地域の中学校生徒の減少は著しく、適正な教育環境の確保のため、統合は避けられない。
  - 2 大原中学校、大東中学校、興田中学校の3中学校を1校に統合すべき。
  - 3 今後、教育委員会において統合に向けた検討をお願いしたい。
    - (1) 適切な通学方法
    - (2) PTA、地域住民の理解協力が得られるよう、丁寧な説明と懇談
    - (3) 合意形成後、PTA、地域住民の代表による組織で統合の具体を推進
    - (4) 統合により、地域との関わりが薄れることのないような配慮
- R2.4.21 第205回一関市教育委員会定例会において提言内容を報告した
- R2.5.11 教育委員による大東地域中学校の現地調査を行った
- R2.5.22 第206回一関市教育委員会定例会において意見交換を行った



一関市教育委員会

教育長 小菅 正晴 様

## 大東地域の中学校再編に係る報告

令和2年3月

大東地域中学校再編検討委員会



## 1 報告に当たって

学校の望ましい適正規模について、旧大東町において、平成9年10月に「大東町の教育を考える構想委員会」が設置され、平成12年7月に「報告書」が提出された。これを受けて、旧大東町教育委員会では、平成13年2月に中長期的展望に立った教育課題に対する施策の方針として「21世紀を展望した大東町の教育の在り方の基本方針」を決定し、「中学校においては、1学年3学級の9学級を目標に整備を推進する」とし、生徒数の推移を見ながら統合を検討するとされた。

一関市となった市町村合併後にあつては、「一関市立学校通学区域調整審議会」において、「各地域単位を基本としながら、学校規模の適正化を図られたい」との答申があつた。大東地域においては、平成24年に大東地域PTA連合会が幼稚園、保育園、小学校及び中学校の保護者にアンケートを実施。平成26年4月には猿沢中学校が大東中学校に編入統合した。また、平成27年以降は、各中学校PTAの役員会、地域協働体及び大東地域教育を語る会などにおいて話し合いが行われてきた。

平成30年度には、9月に大東地域PTA連合会が「大東地域の学校教育に関する意識調査」を実施したほか、各小・中学校PTA代表で構成する「大東地域中学校のあり方検討委員会」を設置し、「人口減少、少子高齢化が進む中、中学校1校での統合により、将来を担う子ども達の教育環境の充実を早急に図っていただきたい」との検討の結果を平成31年3月に大東支所長へ提出した。

これを受けて、市が令和元年度に地域協働体、幼稚園及び保育園父母の会、小・中学校PTAの代表による「大東地域中学校再編検討委員会」を設置し、委員会では、中学校の再編について5回にわたって検討を重ねた。

この報告は、検討委員会における検討結果をまとめたものであり、一関市教育委員会に提出するものである。

## 2 大東地域の中学校の状況

### (1) 3中学校の生徒数と学級数（学校規模）

(単位：人・学級数)

項目	令和元年度	令和7年度	令和13年度
大原中学校	67人(普3、特1)	50人(普3、特)	36人(普3、特)
大東中学校	170人(普6、特2)	139人(普6、特)	85人(普3、特)
興田中学校	60人(普3、特1)	28人(普3、特)	27人(普3、特)
計	297人	217人(-80) ※1	148人(-69) ※2

※1 令和元年度対比 ※2 令和7年度対比

生徒数及び学級数は表のとおり推移し、生徒数は激減する見通しであり、3

中学校の存続はかなり難しく、再編検討は避けられない状況と認識をせざるを得ない。

## (2) 学校生活

小規模校は、生徒一人一人に目が行き届き、生徒同士のまとまりもあり、きめ細かな指導が可能になるなど良い面があるが、切磋琢磨の機会が少なく、一定規模の集団による望ましい教育活動ができないなどの課題がある。

また、生徒の健全育成に欠かすことができない部活動は、生徒数の減少から部活動の数も減少しており選択の幅が狭くなっているほか、部員不足により他校と合同チームを組んで出場しているケースも出ており、生徒及び保護者にとっては切実な課題である。

## (3) 学校施設

大東中学校は、普通学級 6、特別支援学級 1 を基準とした校舎であり、平成 13 年建築で築 20 年になろうとしている。

大原中学校及び興田中学校は、建築から 40 年以上が経っており安全は確保されているが劣化は進んでいる。また、興田中学校の体育館は築 60 年を過ぎている。

## (4) 地域と学校のつながり

大原中学校と興田中学校は、昭和 22 年の開校時と同じ学区であり、3 中学校には長い歴史と伝統があり、地域の行事や祭りへの参加など地域社会との関わりが密接な状況である。

## 3 検討委員会としての考え方

学校教育は、子ども達の集団生活を通して発達段階に応じた学びに励み、健全な心身を育てるという重要な役割がある。

大東地域の中学校は、生徒数の減少が著しく適正な教育環境を確保するために、再編は避けられない状況である。

学校のあり方については、PTAの思いや考え方が十分に尊重されなければならず、アンケートの結果や「大東地域中学校のあり方検討委員会」の報告を尊重することが望ましいと考える。

なお、学校は地域住民が支え、ともに歩んできた歴史があることから、地域の方々の理解を得ることが重要である。

## 4 検討結果

大東地域の中学校は、生徒数の減少が著しく、適正な教育環境を確保するため、統合は避けられない状況にある。このことから、委員会の検討結果として、大東地域内の大原中学校、大東中学校、興田中学校の 3 中学校を 1 校に統合し

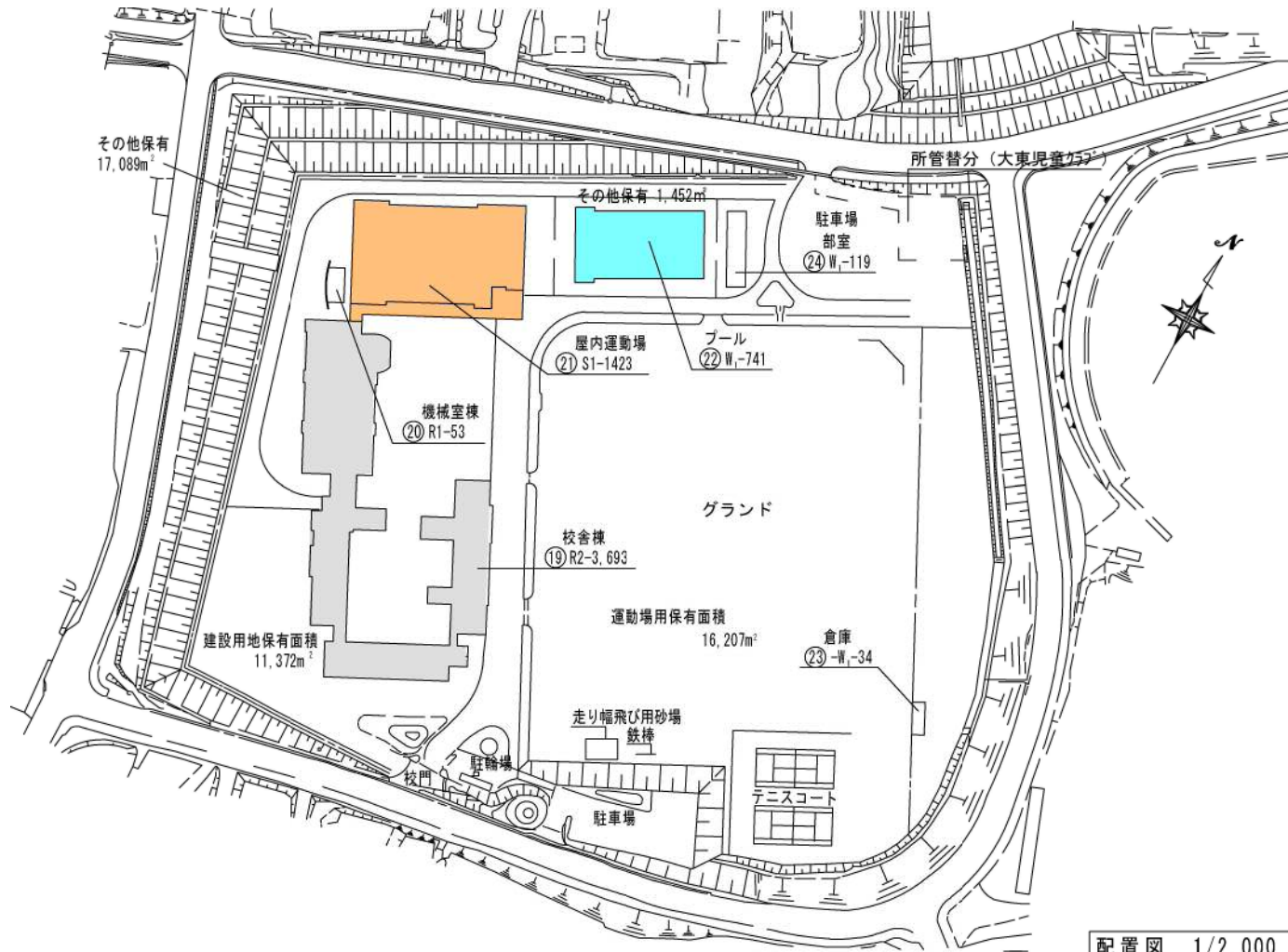
新生中学校とすべきとの結論に至った。

- (1) 統合校舎、その整備等については、生徒・住民・地域にとって適切なものとなるよう、一関市教育委員会において検討されたい。
- (2) 通学方法については、十分に配慮をしていただきたい。
- (3) 統合の推進に当たっては、次の点に留意してほしい。
  - ① P T A及び地域住民の理解、協力を得られるような丁寧な説明と懇談
  - ② 父母の会やP T A、地域住民の代表による組織を設置し、十分な話し合いのもとでの推進
  - ③ 統合により地域との関わりが薄れることのないような配慮

(令和元年度)

凡例

- 建物
- Ⓜ 未とりこわし建物
  - Ⓢ 危険建物
  - Ⓟ 借用建物
  - Ⓜ 一時使用建物
  - Ⓢ 屋外教育環境設備によるもの



大東中学校平面図

資料 3

配置図